

がん患者の心のケア学ぶ

那覇市講座 看護師ら66人参加



「がんカウンセラー養成講座」でグループワークを行う参加者ら—21日、那覇市立病院

保坂隆さん



保坂隆さんが21日、那覇市立病院で開かれた。看護

がん患者の心のケアを現場で最も身近にいる看護師らが学ぶと、聖路加国際病院精神腫瘍科医の保坂隆さんを招いた「がんカウンセラー養成講座」(サバイバーナースの会「びあナス」主催)が21日、那覇市立病院で開かれた。看護

どで、インフォームドコンセント(十分な説明と同意)の導入時期も重なって15年前の3割から倍増している。

「がん患者の3分の1は心のケアを必要としている」と指摘した保坂さん。適応障害やうつ症状の出たがん患者に対し、看護師など周囲の人ができることとして、声掛けや症状の発見から専門的治療への橋渡しが重要だとした。